



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社ギックス 上場取引所 東
コード番号 9219 URL <https://www.gixo.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 網野 知博
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 岩田 夏希 TEL 03 (3452) 1221
定時株主総会開催予定日 2026年9月28日 配当支払開始予定日 2026年9月10日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期の連結業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期	2,765	15.3	25	—	2	—	△35	—
2025年6月期	2,398	13.3	△99	—	△101	—	△99	—

（注）包括利益 2026年6月期 △35百万円（－％） 2025年6月期 △99百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年6月期	△6.36	—	△2.1	0.1	0.9
2025年6月期	△17.91	—	△5.3	△4.5	△4.2

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年6月期	2,718	1,687	59.8	290.58
2025年6月期	2,110	1,816	83.7	316.53

（参考）自己資本 2026年6月期 1,626百万円 2025年6月期 1,767百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	289	△301	315	1,487
2025年6月期	△319	△107	△160	1,184

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年6月期	—	26.50	—	27.00	53.50	114	—	15.9
2026年6月期	—	26.50	—	27.00	53.50	116	—	6.6
2027年6月期（予想）	—	26.50	—	27.00	53.50		232.2	

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,000	8.5	100	295.3	90	—	50	—	8.94

（注）2027年6月期の連結業績予想の詳細は添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社メイズ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年6月期	5,596,775株	2025年6月期	5,584,831株
2026年6月期	177株	2025年6月期	177株
2026年6月期	5,592,145株	2025年6月期	5,583,644株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年6月期の個別業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	2,304	△0.2	99	—	65	—	24	—
2025年6月期	2,308	12.4	△89	—	△90	—	△90	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	4.44	4.43
2025年6月期	△16.21	—

(注) 1. 個別経営成績の変動の背景につきましては、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」に記載した内容と同様です。

2. 2025年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	2,580	1,757	65.7	302.99
2025年6月期	2,088	1,825	85.1	318.16

(参考) 自己資本 2026年6月期 1,695百万円 2025年6月期 1,776百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。なお、当社の事業計画及び成長可能性に関する資料の開示は2026年9月を予定しております。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年8月18日(火)に機関投資家及びアナリスト向けに説明会（ウェブ）を開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	15
(追加情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	17

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃上げをはじめとした雇用・所得環境の改善を背景に回復傾向がみられました。一方で、原材料価格・エネルギーコストの高騰や物価上昇等の影響に加え、米国の政策動向等により、景気の先行きは不透明な状況が続いています。そのような中、各企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進や、生成AI等の技術革新・一般社会への普及等もあり、ビッグデータの活用やAIアルゴリズム技術等の社会実装を目指す機運がますます高まっております。

このような環境の下、当社グループは「あらゆる判断を、Data-Informed（データインフォームド）に。」をパーパスとして掲げ、「すべての人がデータという武器を用いて論理的に考え、合理的に判断する社会」の実現を目指しています。当社グループは、業界リーディングカンパニーに対し、データに基づく判断・意思決定（Data-Informed Decision-Making）支援を行っています。データインフォームドにおいては、人間が思考する際に、一般的なデータ分析のアウトプットに加え、生成AI等から得られた情報群を「考えるための材料」として適切に提供することにより、人間の思考が拡張されていくことが理想の姿です。

当社グループは、創業以来、長年にわたって培ってきたデータ分析にまつわるノウハウやアセット群を活用すると共に、昨今、注目されている生成AI等の新たな情報処理技術を取り入れて、クライアント企業の「データ“も”用いた判断」を核とした業務変革を推進し、事業成長・業績改善および競争力強化を実現します。その上で、当社グループは主たる事業領域を「顧客理解に基づく判断のDI化」と定め（なお、顧客とは、クライアント企業にとっての顧客（エンドユーザー、会員等）を指します）、「顧客理解No.1カンパニーを目指す」をビジョンに掲げています。「顧客理解といえば、ギックス」と想起してもらえるような存在を目指しており、ビジョン達成に向け、エンドユーザーの心理・価値観を行動データ分析によって理解し、それに基づいた最適な提案および実行支援を行うことでクライアント企業の事業成長支援を行います。また、提供するサービスの特徴から大きく「Business Innovation」と「System Innovation」に分類しており、この2つの領域を単独もしくは組み合わせ提供してまいります。

当連結会計年度においては、2025年10月に分散する既存システムを対話型AIで包括的に統合する新サービス「AI wrapping（AIラッピング）」、本年3月にデータ基盤上の複雑なデータをビジネス用語へ変換し、定義を統一することで、生成AI活用やデータを用いた現場の意思決定を支援するインフラとなる「セマンティックレイヤー」の構築支援、6月に企業の意思決定高度化を支援する「AI-Informed Platform（AIP）」サービス等、活用ニーズが高まる生成AIに関連する複数サービスの提供を開始しました。また、2025年8月、業務提携先であるBeyondge株式会社と共同で、大企業におけるAI・デジタル人材の内製化を包括的に支援する新サービス「DIGITAL BOOST」の提供を開始し、12月には、大企業における連続M&Aをデータやテクノロジーを活用しながら包括的に支援する新サービス「M&A BOOST」の提供を開始しました。加えて、トヨタモビリティパーツ株式会社と共同開発した「AI整備見積りシステム」の特許を共同で取得したほか、本年6月には株式会社富山エアポートと、富山県内でデータ・AIなど次世代を担う人材の雇用創出と、空港を実践の場として新たな産業やサービス開発を目的とした連携協定を締結しました。「データ・AI×ゲーミフィケーション」によるプラットフォーム「マイグル（Mygru）」においては、引き続き数多くのキャンペーンに導入されています。吉本興業グループの株式会社FANYが実施する「吉本新喜劇座員総選挙2025」のほか、佐藤健LINE公式アカウントで実施された「Netflix シリーズ『グラスハート』デジタルスタンプラリー」、株式会社SMエンタテインメントに所属する韓国発の6人組ボーイズグループ「RIIZE」のデジタルスタンプラリー、韓国発のガールズグループ「i-dle」のLINE公式アカウントにおいて実施されたスペシャルキャンペーン「i-BINGO」等、注力しているエンタメ領域における実績を着実に積み上げています。さらに、当社はLINEミニアプリを活用した展開を強化しており、LINEヤフー株式会社が提供する新サービスである「LINEタッチ」によるLINEミニアプリ起動に対応する等、機能拡張も引き続き推進しています。加えて、M&Aにも引き続き注力しており、2025年10月1日より株式会社メイズが連結子会社となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,765,460千円（前期比15.3%増）、当連結会計年度より目標として定めているコア営業利益（当社グループの事業活動により生み出される利益であり、営業利益にのれん償却費とM&A関連費用を加えたもの）は92,528千円（前期は88,168千円の損失）となりました。また、営業利益は25,296千円（前期は99,659千円の損失）、経常利益は2,715千円（前期は101,164千円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は35,559千円（前期は99,975千円の損失）となりました。

また、セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①Data-Informed事業

売上高は2,733,491千円、営業利益は26,590千円となりました。

②その他の事業（介護事業等）

売上高は31,968千円、営業損失は1,293千円となりました。

なお、その他の事業（介護事業等）に関しては、中間連結会計期間より開始しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,115,027千円となり、前連結会計年度末に比べ242,000千円増加いたしました。これは、売掛金及び契約資産が52,697千円減少した一方で、現金及び預金が302,954千円増加したこと等によるものであります。固定資産は603,679千円となり、前連結会計年度末に比べ365,781千円増加いたしました。これは、のれんが276,462千円、顧客関連資産が49,950千円発生したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,718,707千円となり、前連結会計年度末に比べ607,781千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は574,540千円となり、前連結会計年度末に比べ324,424千円増加いたしました。これは、その他流動負債が165,167千円、1年内返済予定の長期借入金が106,871千円増加したこと等によるものであります。固定負債は456,612千円となり、前連結会計年度末に比べ412,443千円増加いたしました。これは、長期借入金336,145千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,031,153千円となり、前連結会計年度末に比べ736,868千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,687,554千円となり、前連結会計年度末に比べ129,086千円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失35,559千円を計上したこと及び剰余金の配当を116,090千円実施したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は83.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ302,954千円増加し、1,487,795千円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は289,900千円（前期は319,688千円の支出）となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少が143,037千円及び未払消費税等の増加が85,664千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は301,992千円（前期は107,434千円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出290,557千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は315,046千円（前期は160,384千円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額115,947千円等があった一方で、長期借入れによる収入510,000千円が発生したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

2027年6月期につきましては、2025年10月に子会社となった株式会社メイズの業績の通年寄与や、当社のオーガニックな成長を目指しており、目標をそれぞれ以下の通りとしています。なお、以下目標には、現時点で確定していないM&Aによる効果は含んでおりません。

(%表示は、対前期増減率)

売上高		コア営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3,000	8.5	133	43.7	100	295.3	90	—	50	—

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。今後業績予想に修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

また、配当につきましては、2024年4月に発表しました配当方針に基づき、2026年6月期と同額の、中間26.5円、期末27.0円の年間53.5円の配当を予定しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184,841	1,487,795
売掛金及び契約資産	638,008	585,310
その他	50,177	41,921
流動資産合計	1,873,027	2,115,027
固定資産		
有形固定資産		
建物	82,496	84,537
工具、器具及び備品	55,623	69,478
減価償却累計額	△59,931	△81,311
有形固定資産合計	78,188	72,703
無形固定資産		
のれん	—	276,462
顧客関連資産	—	49,950
その他	175	118
無形固定資産合計	175	326,531
投資その他の資産		
投資有価証券	52,500	52,500
繰延税金資産	70,197	79,855
その他	36,837	72,089
投資その他の資産合計	159,534	204,444
固定資産合計	237,898	603,679
資産合計	2,110,925	2,718,707
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	—	106,871
未払金	145,555	138,749
未払法人税等	4,653	51,368
賞与引当金	—	13,500
受注損失引当金	1,021	—
その他	98,884	264,052
流動負債合計	250,116	574,540
固定負債		
長期借入金	—	336,145
繰延税金負債	—	16,665
資産除去債務	44,168	47,829
役員退職慰労引当金	—	9,086
退職給付に係る負債	—	46,886
固定負債合計	44,168	456,612
負債合計	294,284	1,031,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	287,760	292,867
資本剰余金	1,160,086	1,165,193
利益剰余金	320,147	168,497
自己株式	△292	△292
株主資本合計	1,767,702	1,626,265
新株予約権	48,938	61,288
純資産合計	1,816,640	1,687,554
負債純資産合計	2,110,925	2,718,707

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,398,476	2,765,460
売上原価	1,666,445	1,854,284
売上総利益	732,030	911,176
販売費及び一般管理費	831,689	885,879
営業利益又は営業損失(△)	△99,659	25,296
営業外収益		
受取利息	802	2,782
受取配当金	—	3
雑収入	269	2,044
営業外収益合計	1,072	4,830
営業外費用		
支払利息	219	9,188
支払手数料	—	10,200
新株予約権発行費	—	6,281
雑損失	2,358	1,741
営業外費用合計	2,577	27,411
経常利益又は経常損失(△)	△101,164	2,715
特別利益		
関係会社株式売却益	—	4,692
特別利益合計	—	4,692
特別損失		
減損損失	22,083	—
特別損失合計	22,083	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△123,247	7,407
法人税、住民税及び事業税	8,814	43,066
法人税等調整額	△32,086	△98
法人税等合計	△23,272	42,967
当期純損失(△)	△99,975	△35,559
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△99,975	△35,559

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純損失(△)	△99,975	△35,559
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	△99,975	△35,559
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△99,975	△35,559
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	286,133	1,158,459	534,876	△250	1,979,219
当期変動額					
新株の発行	1,626	1,626			3,253
剰余金の配当			△114,754		△114,754
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△99,975		△99,975
自己株式の取得				△42	△42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,626	1,626	△214,729	△42	△211,517
当期末残高	287,760	1,160,086	320,147	△292	1,767,702

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	32,603	2,011,822
当期変動額		
新株の発行		3,253
剰余金の配当		△114,754
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△99,975
自己株式の取得		△42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16,335	16,335
当期変動額合計	16,335	△195,182
当期末残高	48,938	1,816,640

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	287,760	1,160,086	320,147	△292	1,767,702
当期変動額					
新株の発行	5,106	5,106			10,213
剰余金の配当			△116,090		△116,090
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△35,559		△35,559
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	5,106	5,106	△151,650	－	△141,436
当期末残高	292,867	1,165,193	168,497	△292	1,626,265

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	48,938	1,816,640
当期変動額		
新株の発行		10,213
剰余金の配当		△116,090
親会社株主に帰属する当期純損失（△）		△35,559
自己株式の取得		－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	12,349	12,349
当期変動額合計	12,349	△129,086
当期末残高	61,288	1,687,554

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△123,247	7,407
減価償却費	12,109	20,273
のれん償却額	2,916	22,415
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△4,692
減損損失	22,083	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△18,069
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	3,438
受取利息及び受取配当金	△802	△2,785
支払利息	219	9,188
株式報酬費用	18,983	14,859
新株予約権発行費	-	6,281
売掛金及び契約資産の増減額(△は増加)	△228,163	143,037
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,297	85,664
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	814	3,810
未払費用の増減額(△は減少)	9,337	23,790
前受金の増減額(△は減少)	△821	3,183
その他	△1,640	△22,940
小計	△310,509	294,864
利息及び配当金の受取額	802	2,785
利息の支払額	△219	△9,188
法人税等の支払額	△27,264	△14,869
法人税等の還付額	17,500	16,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	△319,688	289,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,393	△6,627
投資有価証券の取得による支出	△50,000	-
事業譲受による支出	△25,000	-
敷金の差入による支出	△1,176	-
敷金の回収による収入	1,134	77
保険積立金の積立による支出	-	△7,318
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	2,434
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△290,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,434	△301,992
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	510,000
長期借入金の返済による支出	△45,817	△80,388
自己株式の取得による支出	△42	-
新株予約権の発行による支出	-	△5,497
株式の発行による収入	-	6,880
配当金の支払額	△114,525	△115,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,384	315,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△587,508	302,954
現金及び現金同等物の期首残高	1,772,349	1,184,841
現金及び現金同等物の期末残高	1,184,841	1,487,795

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業別のセグメントから構成されており、「Data-Informed事業」及び「その他」の2つを報告セグメントとしております。

(報告セグメント変更に関する事項)

当社グループは、前連結会計年度までData-Informed事業の単一セグメントでしたが、株式会社メイズを連結の範囲に含めたことに伴い、当連結会計年度より、「Data-Informed事業」及び「その他」のセグメントに変更いたしました。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、当連結会計年度より追加されたことから、開示を行っておりません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は発生費用を基礎に当事者間で協議の上決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、Data-Informed事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）1	合計
	Data-Informed	計		
売上高				
外部顧客への売上高	2,733,491	2,733,491	31,968	2,765,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,733,491	2,733,491	31,968	2,765,460
セグメント利益又は損失(△)	26,590	26,590	△1,293	25,296
セグメント資産	2,718,707	2,718,707	—	2,718,707
セグメント負債	1,031,153	1,031,153	—	1,031,153
その他の項目				
減価償却費	14,476	14,476	1,746	16,223
のれん償却額	22,415	22,415	—	22,415
顧客関連資産償却費	4,050	4,050	—	4,050
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,627	6,627	—	6,627

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業及び旅行事業を

含んでおります。なお、2026年1月1日付で介護事業を売却しており、2026年6月末に旅行事業を廃止しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

売上高はすべてData-Informed事業の売上高であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
西日本旅客鉄道(株)	1,049,843	Data-Informed事業
(株)TRAILBLAZER	527,642	Data-Informed事業
アサヒグループジャパン(株)	284,596	Data-Informed事業

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
西日本旅客鉄道(株)	1,268,569	Data-Informed事業

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他	全社・消去	合計
	Data-Informed	計			
当期償却額	22,415	22,415	—	—	22,415
当期末残高	276,462	276,462	—	—	276,462

（注）Data-Informed事業において、株式会社メイズの株式を取得し子会社化したことにより、のれんの金額が276,462千円増加しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	316.53円	290.58円
1株当たり当期純損失(△)	△17.91円	△6.36円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

- (注) 1. 当連結会計年度及び前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,816,640	1,687,554
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	48,938	61,288
(うち新株予約権(千円))	(48,938)	(61,288)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,767,702	1,626,265
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,584,654	5,596,598

3. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△99,975	△35,559
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△99,975	△35,559
期中平均株式数(株)	5,583,644	5,592,145
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(一)	(一)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（追加情報の注記）

（財務制限条項）

当社は、2025年9月30日付で、株式会社みずほ銀行との間で「金銭消費貸借契約」を締結しております。

この契約には下記の財務制限条項が付されております。これに抵触した場合は、本契約上の全ての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

- （1）2026年6月期決算を初回とし、以降各年度の決算期の末日における連結貸借対照表及び貸借対照表の純資産の部の金額を、直前の決算期末日における連結貸借対照表及び貸借対照表の純資産の部の金額の75%以上に維持すること。
- （2）各年度の決算期における連結損益計算書及び損益計算書の経常損益の額が、2025年6月期を初回とし、以降の決算期につき2期連続で損失とならないようにすること。

当該契約に基づく借入金残高は433,500千円であります。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。